

## 2026年4月26日（日）第1礼拝「信仰生活の目的」出エジプト 33章 1～11節

今日の聖書箇所は、信仰生活の目的について教えています。信仰が深くなると、賜物より神様ご自身を求めようになります。神様に栄光を返し、神様を楽しみ、神様も私たちが喜ばれることが人生の目的です。モーセがシナイ山で十戒を受けている間、民は金の子牛を作り、「これがエジプトから連れ出した神だ」と言って飲み食いして踊り、偶像崇拝をしました。それを見た神様は怒られましたが、モーセは赦しを求めて神様に叫び続けました。

**第一番目、モーセの祈りです。**モーセは神様に「イスラエルを赦してください。アブラハム、イサク、ヤコブに約束された通り、子孫を増やし、その子孫が乳と蜜の流れる地に住むようにしてください。」と言いました。すると、神様は「ひとりの御使いを遣わし、敵を追い払い、約束したことを実現しよう。しかし、わたしはあなたがたとともに行かない。」と言われました。イスラエルの民が願うものは「神様のいない成功」でした。約束を目標にして夢を抱き、それを告白するなら、神様は御使いを遣わし実現してくださいます。しかし、それは神様のいない成功です。神様がともにおられないなら、たとえ成功しても虚しいです。

**第二番目、「神様がともに上られない」です。**モーセは「神様がともに上られないなら、カナンへの地には行きたくありません。」と言い、神様が同行されることを願いました。いくらお金、名誉、健康があっても、神様がおられないなら、虚しく、幸せにもなれず、必ず滅びます。世界で最も裕福なジョン・D・ロックフェラーは五十三歳で、「あと一年しか生きられない」という余命宣告を受けました。彼は莫大なお金を守るために常に緊張し、胃の病気を患い、不眠となり、その生活の中で余命宣告を受けました。彼は病院のロビーで、お金がなくて学校に入学できない子どもの話を聞き、匿名でその子の学費を助けてあげました。その時、彼はそれまでに感じたことのない喜びを感じ、日記に「これまでお金を儲けるために生きてきたが、お金を分け与える喜びを知り、幸せが何であるかを知った。私は神の前でお金を管理する者だ。」と書きました。その後、余命宣告を受けていた彼は九十八歳まで生きることができました。神様が約束の地とともに上られないことを聞いた民は、エジプト人たちの偶像に使っていた飾り物はずし、悔い改め、神様がともに上られることを願ったのです。

**第三番目、信仰生活の目的は、神様と親密になることです。**モーセは罪深い人でしたが、会見の天幕に行き、主と顔と顔を合わせて語り合いました。会見の天幕には、イエス・キリストの十字架を表す祭壇や罪を洗う旋盤や聖所や至聖所があります。その神様の御座は憐みの御座です。祈りとは、イエス様の血潮の恵みで主の御座に行き、憐みを受け、主と顔と顔を合わせて会話することです。祈りの中で、神様に自分のありのままの顔や心をさらけ出す時、神様もご自分の顔と心を表してください。エジプトから連れ出された民がその栄光を偶像に返したことで神様は怒られ、「わたしは約束の地に上らない」と言われました。その時、モーセは主の御顔を仰ぎ見、主と語り合いました。同様に私たちが主の御前で祈る時、主は直観に働きかけ、主の心を教えてくださり、また、御言葉を与えて導いてくださいます。